

RIO TINTO

リオ ティント

2007年第3四半期営業報告

2007年10月17日

- 当四半期における鉄鉱石の生産量及び船積量はほぼ過去最高で、豪州の生産は第3四半期に発生した2件の脱線により、生産量に悪影響を与えたにも関わらず、2006年の9ヶ月累計と比較して11%上昇しました。
- 当四半期に Yandicoogina の能力は年間 52 百万トンに達し、豪州においては単一鉱山として最大の鉄鉱山となりました。年間 22 百万トンの Hope Downs 鉱山及び関連インフラの建設は完成に近づきました。
- Pilbara では、請負業者及びその他の採鉱関連投入コストが継続的に増加しており、これが収益の面での圧力となっています。管理可能なコストをより厳格に管理するため、さらに様々な手段が講じられています。
- Northparkes 及び Kennecott Utah Copper において予想していた通り粗鉱品位が低下したことで、銅採鉱量は前年同期比で 6%減少しました。
- Kennecott Utah Copper 製錬所では予定通りの炉修が実施された 2006 年第 3 四半期と比べ、銅地金生産量は 30%増加しました。
- Grasberg における金の粗鉱品位が上昇したことで、金採鉱量のリオティント持分が前年同期比と比較して 35%上昇しました。
- Queensland と New South Wales における港の混雑や鉄道といったインフラの課題は、引き続き豪州の強粘結炭及び一般炭に影響を与え、当四半期の生産量は前年同期比で各々 10%及び 24%の減少となりました。
- 当四半期のウラン精鉱の生産量は、前年同期比で 5%増加しました。これは、Ranger 鉱山に於いて排水計画が順調に推移した事と採掘計画の最適化を実施した結果として、より高品位のウラン鉱石を精錬できた事により、Rössing の生産量がウラン鉱石品位の低下により減少した分を補った結果です。

この報告書に記載されている通貨は、記載されている場合を除き、全て米ドルです。

鉄鉱石及び鉄

リオティントの生産シェア（単位：千トン）

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計額	2006-07年 9ヶ月累計比
Hamersley	27,105	+7%	-3%	79,046	+15%
Robe River	6,381	-16%	-8%	19,773	-5%
IOC	2,376	-1%	+37%	5,520	-20%

鉄鉱石のマーケットが非常にタイトな状況下において、Pilbara Blend 商品は無事に販売開始され、より改善された product consistency (商品の品質維持)を顧客へ提供しています。

豪州のピルバラ地域における生産量を 2009 年までに、220 百万トンまで増加させるための投資プログラムは順調に進んでおり、2012 年から 2014 年頃までに更に年間能力を 320 百万トンまで増加するための初期計画は進行中で、2008 年に投資判断をする予定です。

当四半期における鉄鉱石の生産量及び船積量はほぼ過去最高で、2006 年の 9 ヶ月累計と比較して 11%上昇しました。

Hamersley 及び Robe River

Yandicoogina Junction South East の拡張が完了したことにより、Yandicoogina の能力が年間 52 百万トンにまで上昇し、豪州において単一鉱山として最大の鉄鉱山となりました。年間 22 百万トンの Hope Downs 鉱山、及び Lang Hancock の鉄道を含む関連インフラの建設は完成に近づき、最初の鉱石は 2008 年頃に採掘できると予想されています。

Tom Price、Paraburdoo における既存鉱山の拡張が完了したことで、生産率を伸ばすことができました。

Parker Point の Dampier アップグレード B は無事に完了し、Cape Lambert 港の年間能力を 80 百万トンにする拡張は進行中です。

当初から予定していた、Cape Lambert におけるカーダンパーのメンテナンスのための 14 日間のシャットダウンにより、Robe River の処理量は減少しました。

8 月に発生した 2 件の脱線は、Hamersley の操業に影響を与えました。近年 Pilbara からの船積増加により、鉄道インフラに負荷をかけることになり、その結果、鉄道の古くなった部分のアップグレードが必要となりました。メンテナンス計画は前倒しされ、更なる脱線リスクを軽減するため、似たような特徴を持つ 12 箇所の鉄道のメンテナンス工事は完了し、代替となる貨車の購入も前倒しされました。

Hlsmelt

Hlsmelt 工場における当四半期の生産量は、前四半期において実施したいくつかの改修工事及び炉の巻き替えにより、四半期ベースで過去最高となりました。工場は現在公称能力の 80%まで稼働し、元々の 3 年間の漸次的増産計画の後 2008 年に公称能力の年間 80 万トンに達する計画は変わっておりません。

Iron Ore Company of Canada

Iron Ore Company of Canada におけるコンセントレート及びペレットの生産は、第 1 及び第 2 四半期の生産に影響を及ぼした 7 週間に及ぶストライキからさらに回復しました。ペレットの生産は第 2 四半期と比較して 42%上昇し、一方、コンセントレートの生産はストライキ後にいった緊急補修があったにもかかわらず 18%上昇しました。

エネルギー

米国における一般炭

リオティントの生産シェア (単位：千トン)

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計	2006年 9ヶ月比
Rio Tinto Energy America	31,184	0%	+3%	91,860	-1%

2007年第3四半期における生産量は、前年同期と比較して横ばいでした。電力需要の低下及び2006年度末の出荷が増加したことで、電力会社の石炭在庫量が増加しました。

Spring Creek の生産は、拡張プロジェクトがうまく実行されたため、四半期ベースで過去最高となりました。

豪州における石炭

リオティントの生産シェア (単位：千トン)

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計	2006年 9ヶ月比
Rio Tinto Coal Australia					
強粘結炭	1,564	-10%	-4%	4,635	+6%
その他石炭	5,855	-24%	0%	18,746	-20%

強粘結炭は、概して良好な市況にも拘わらず、Queensland に於ける港の制約及び割当数量の減少による深刻な影響で、生産量が減少しました。

New South Wales においては、コールチェーンインフラの制限による港の出荷能力の減少が、引き続き全ての炭鉱に影響を及ぼし、6月の大雨及び不可抗力宣言後の Coal & Allied (リオティント子会社) の生産量回復を打ち消しました。

豪州東海岸の石炭積出港 (Newcastle 及び Dalrymple Bay) は、所有者及び運営者による投資プログラムにより、2008年の下半期から2009年にかけて能力増加が見込まれています。

ウラニウム

リオティントの生産シェア (単位：千ポンド)

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計	2006年 9ヶ月比
Energy Resources of Australia	1,980	+20%	-11%	5,723	+26%
Rössing	1,126	-14%	+16%	3,389	-14%

Ranger 鉱山における生産は、前年同期比で20%増加しました。様々な排水計画の導入に成功したことに加え、採掘計画の最適化が高品位な鉱石の精錬を可能としました。

当四半期は、前年同期比で Rössing における低品位の影響を受けましたが、前四半期比では改善しました。

ダイヤモンド及び鉍物

ダイヤモンド

リオティントの生産シェア（単位：千カラット）

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計	2006年 9ヶ月比
Argyle	4,865	-42%	+10%	12,749	-39%
Diavik	1,874	+10%	-5%	5,399	+23%

Argyle におけるダイヤモンドの生産量は、現在の採掘場所と関連して継続的に粗鉍品位が低下したことによる制約を引き続き受けています。露天掘りが終了間近となり、坑内掘りへ移行していくため、粗鉍品位と生産量が変化しやすくなることが予想されています。

Diavik の当四半期における生産量は、前年同期比で 10%高くなりました。これは、2007 年の A154S 管状鉍脈の品位が、2006 年の A154S と A154N の管状鉍脈ブレンドと比較して、上昇したためです。当四半期における生産量は、過去最高となった第 2 四半期と比較して 5%低下しました。

鉍物

リオティントの生産シェア（単位：千トン）

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計	2006年 9ヶ月比
ホウ酸塩	134	-2%	-8%	408	0%
酸化チタン原材料	356	+5%	-3%	1,075	+4%

当四半期におけるホウ酸塩と酸化チタン原材料の生産量は、前年同期とほぼ同じ水準となりました。これは、アジアパシフィックと欧州における堅調な需要分が、米国の軟調な住宅市場分と相殺されたためです。

アルミニウム

リオティントの生産シェア（単位：千トン）

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計	2006年 9ヶ月比
Rio Tinto Aluminium					
ボーキサイト	4,651	+15%	+10%	13,113	+12%
アルミナ	679	-17%	-1%	2,024	-17%
アルミニウム	216.2	0%	0%	644.4	+2%

当四半期のボーキサイト生産量は前年同期比で 15%増加し、第 2 四半期と比較して 10%増加しましたが、これは、2 基目のシップローダーの導入に伴う能力増を反映したものです。

当四半期の Yarwun におけるアルミナ生産量は、前年同期とほぼ同水準となりました。当四半期におけるリオティント全体のアルミナ生産量は、現存の精錬所を比較したベースで見ると前年同期よりも若干増えていますが、実際には 2006 年 10 月に Eurallumina 精錬所を売却したため、17%減少しています。

アルミニウム製錬所における生産量は、前年同期とも第 2 四半期ともほぼ同等な水準でした。9 ヶ月累計では前年と比較して 2%増加しました。

銅

リオティントの生産シェア（単位：千トン）

	2007年 第3四半期	2006年 第3四半期比	2007年 第2四半期比	2007年 9ヶ月累計	2006年 9ヶ月比
Kennecott Utah Copper					
銅採鉱量（千トン）	49.5	-28%	-11%	159.2	-20%
銅地金生産量（千トン）	68.7	+25%	+1%	206.3	+7%
モリブデン（千トン）	3.5	-26%	-9%	11.9	-5%
金採鉱量（千オンス）	88	-35%	-27%	317	-24%
金地金生産量（千オンス）	128	-6%	-12%	390	-1%
Escondida					
銅採鉱量（千トン）	101.2	+25%	-4%	317.9	+8%
銅地金生産量（千トン）	16.1	+77%	-18%	55.7	+140%
Grasberg JV					
銅採鉱量（千トン）	7.5	-10%	+34%	18.9	-38%
金採鉱量（千オンス）	149	+1,777%	+54%	320	+787%

Kennecott Utah Copper

当初から予定していた5日間の選鉱所の炉修は、当四半期の粗鉱処理量に影響を与え、銅・金採鉱量が減少しました。当四半期及び当年度の9ヶ月累計の粗鉱品位は前年と比較して低くなりました。

当四半期におけるモリブデン生産量が前年同期比で減少したのは、鉱石品位の低下及び鉱体に含まれる石灰岩が高水準であったことが影響しています。

当四半期における銅地金生産量は前年同期と比較して上昇しました。これは2006年第3四半期に、製錬所の炉修のためシャットダウンを行ったことに起因します。

Escondida

当四半期における銅採鉱量は、対前年同期で25%増加しました。これは、2007年に粗鉱品位及び処理量が上昇したこと、及び2006年においてはストライキが発生した為です。銅地金生産は、硫化鉱のリーチングによる生産増加が加速してきたため、対前年同期で77%増加しました。

Grasberg

2007年におけるメタルの配分比率の変化が、対前年同期でリオティントの銅の生産シェアを低下させ、金の生産シェアを増加させた主な要因です。

その他銅事業

Northparkesにおける銅生産量減少は、E26ブロックケーブの生産が終了間近となり、予期していた通りの粗鉱品位が低下したことに起因するものです。

探鉱及び評価

2007年9ヶ月累計の探鉱及び評価に関する税前の費用は、損益勘定に3.48億米ドル費用計上され、前年の9ヶ月累計では、1.75億米ドル費用計上されました。このうち、0.76億米ドルは各ビジネスユニットの費用として認識されました。

当期における活動は以下の通りとなります。

商品事業部	進行しているプロジェクト	新規開拓プログラム
アルミニウム		ブラジル、豪州
銅	インドネシア(Sulawesi) - ニッケル：COWの交渉継続 米国(Lakeview) - ニッケル・銅：初期的企業価値の検討(Order of magnitude)の開始準備中	ロシア(RioNor 合併)、カザフスタン、米国、メキシコ、チリ、ペルー、アルゼンチン、南及び中央アフリカ
ダイヤモンド及び 鉱物	インド(Bunder) - ダイヤモンド Chilubane, Mutamba (従来 Xai Xai, Imhambane) - イルメネイト Mozambique, Jarandol 及び Jadar - ホウ酸塩 セルビア、Namekara - 蛭石、ウガンダ：初期的企業価値の検討 (Order of magnitude) 作業中	インド、カナダ、ロシア、モーリタニア、及びマリ(ダイヤモンド)、豪州、カナダ、米国、トルコ、セルビア(産業用鉱産物)
エネルギー	モンゴル - Huren Gol (石炭) コロンビア - Landazuri(石炭) 石炭測定ドリリング	コロンビア、カナダ、米国、南アフリカ、及びモンゴル
鉄鉱石	豪州(ピルバラ)：ある程度調査が進んでいるいくつかの採掘有望地において採掘ドリリング	ブラジル、ギニア、及び Gabon

Kennecott Utah Copper, Northparkes, Greens Creek, Energy Resources of Australia, Rössing, Argyle, Diavik, 及び Pilbara Iron を含んだリオティントの数多くのビジネスにおいて、鉱山リースの探鉱が行われました。探鉱結果が良好なものであったため、Rössing においてドリリング活動が増えています。

Resolution(銅/金-米国)、La Granja(銅-ペルー)、Eagle(ニッケル/銅-米国)、Potasio Rio Colorado(炭酸カリウム-アルゼンチン)、Simandou(鉄鉱石-ギニア)、及びピルバラ地域におけるいくつかの鉄鉱石鉱床を含む数多くのプロジェクトについて、Pre F/S 又は F/S の検討がされています。

【本件に関するお問い合わせ先】

ロンドン

Media Relations

Christina Mills

電話：+44-20-8080-1306

携帯：+44-7825-275-605

Nick Cobban

電話：+44-20-8080-1305

携帯：+44-7920-041-003

Investor Relations

Nigel Jones

電話：+44-20-7753-2401

携帯：+44-7917-227-365

David Ovington

電話：+44-20-7753-2326

携帯：+44-7920-010-978

メール：questions@riotinto.com

ウェブサイト：www.riotinto.com

高画質な映像は右のリンク先より参照可能です：www.newscast.co.uk

日本

財務業務部

植松 健

電話：03-3222-2440

携帯：090-4012-5960

メール：Ken.Uematsu@riotinto.com

豪州

Media Relations

Ian Head

電話：+61-3-9283-3620

携帯：+61-408-360-101

Amanda Buckley

電話：+61-3-9283-3627

携帯：+61-419-801-349

Investor Relations

Dave Skinner

電話：+61-3-9283-3628

携帯：+61-408-335-309

Jason Combes

電話：+1-801-685-4535

携帯：+1-801-558-2645

大木 龍

電話：03-3222-2440

携帯：090-8847-0607

メール：Ryo.Ohki@riotinto.com